

## 第2次安城市エコサイクルシティ計画 パブリックコメント集約意見及び回答

1. 募集期間 平成29年2月15日～平成29年3月16日
2. 意見提出数 1人（2件）

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要（原則原文どおり）	市の考え方	計画への反映
1	【P36】 第4章 基本方針 1 計画の目標値	<p>●計画の目標値</p> <p>成果指標の「自転車利用促進に対する満足度」は、あまりにも主観的で曖昧な指標（アンケートの方法、設問次第で数字はどのようにも変動する）だと思う。当初計画の指標「移動手段としての自転車利用割合」と比べても後退した感が否めない。「自転車通行区分を明確化した道路延長」とか「駐輪場設置箇所・台数」など誰でもわかる具体的な数値を入れるべきではないか。</p> <p>計画策定から10年も経過しようとしているにも拘らず、「自転車都市」の実感はあまり感じられない。漫然と計画を続けていても目標達成はできない。計画にあるような理想を達成するという本気度をアピールし、真の自転車都市を確立するためにもぜひ必要である。</p>	<p>「自転車走行空間の整備路線延長」、「駐輪場設置箇所・台数」等、事業を実施することによって直接発生した成果物の量(アウトプット指標)については、計画書には掲載していませんが、具体的な数値を把握し適切に公表していくとともに、その整備効果についても調査していくことを予定しています。</p> <p>計画の目標値としては、道路整備や駐輪場整備といったハード整備に加え、各種自転車イベントや安全啓発等のソフト施策を含めた各種の自転車施策を実施したことの総合的な成果として、どれだけ市民の皆様にご満足していただけたか（アウトカム指標）を把握していくことがより望ましいと考えておりますので、その目標値を市民アンケートによる「自転車の利用促進に対する満足度」としてしています。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>
2	第5章 基本計画	<p>●具体的な取組</p> <p>自転車を交通手段として確立させるためには、クルマとの関係をどうするかという視点が非常に重要であるが、当初計画同様2次計画にもクルマ側の問題が記述されていない。クルマ側の不法駐停車や自転車通行帯侵入などは、自転車の安全快適走行を阻害している最大要因ともいえる。具体的な取組として、「クルマ、ドライバー」に法令順守を徹底させるための施策も盛り込むべきである。</p>	<p>自動車運転者への啓発については、計画書P48「■自転車の走行ルール、マナーに関する啓発の実施」において、「自動車の運転手に対しても自転車との共存について啓発活動を行い、安全な自転車走行環境の創出に努めます」と記載しており、本計画において推進、実施していくべき事項であると考えております。</p>	<p>ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。</p>